

授業科目 助産診断・技術学Ⅰ

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	看護（助産師コースのみ必修選択）	
下山 博子、臼田 東平（非） 他		開講時期	前期	必修選択	選択	
		単位数	1	時間数	15	
【ディプロマポリシーとの関連性】						
知識・理解		思考・判断		関心・意欲		態度
◎		◎		◎		○
【概要・一般目標：G10】						
妊産褥婦と胎児、新生児を対象とする産科学（正常・異常）・新生児学（正常・異常）を学ぶ。						
【学習目標・行動目標：SB0】						
<ol style="list-style-type: none"> 1 妊娠期の医学的診断・治療について理解する。 2 分娩期の医学的診断・治療について理解する。 3 産褥期の医学的診断・治療について理解する。 4 新生児期の医学的診断・治療について理解する。 						
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1	妊産褥婦の生理と異常に関する病態と治療 1			1～5	講義	
2	妊産褥婦の生理と異常に関する病態と治療 2			1～5	講義	
3	妊産褥婦の生理と異常に関する病態と治療 3			1～5	講義	
4	妊産褥婦の生理と異常に関する病態と治療 4			1～5	講義	
5	妊産褥婦の生理と異常に関する病態と治療 5			1～5	講義	
6	妊産褥婦の生理と異常に関する病態と治療 6			1～5	講義	
7	新生児の生理と異常に関する病態と治療 1			1～5	講義	
8	新生児の生理と異常に関する病態と治療 2			1～5	講義	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)						
参考書		助産師基礎教育テキスト 第7巻 ハイリス 遠藤俊子責任編集 日本看護協会出版会 2013・4,500円＋税				
		最新産科学 正常編 改訂第22版	荒木勤	文光堂	2008・5,000円＋税	
		最新産科学 異常編 改訂第22版	荒木勤	文光堂	2012・7,000円＋税	
その他の資料						
【評価方法】		【履修上の留意点】				
筆記試験		課題意識をもって主体的に学習し、助産に必要な医学的診断・治療に関する知識に基づき、助産師としての役割・態度についても学んでください。				